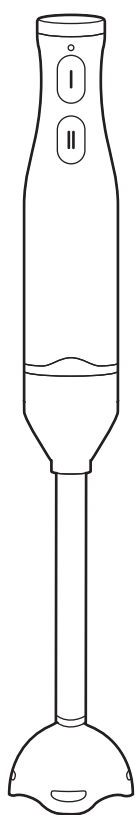


取扱説明書

ハンドブレンダー
保証書付（裏表紙）

ANGC-BLD22-A



この度は、e angleハンドブレンダーをお買い上げいただき
まことにありがとうございます。

ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みいただき
正しいご使用をお願いいたします。

また、この取扱説明書はいつでも見ることができる所に
保管してください。

この製品は日本国内用に設計されていますので、
日本国外では使用できません。

FOR USE IN JAPAN ONLY.

もくじ



安全上のご注意	1~2
各部の名称	3
ブレンダー/ピーターの用途	4
お使いになる前に	5
エラーランプが点灯して しまったら	5
ブレンダーの使いかた	6~8
ピーターの使いかた	9~10
お手入れの仕方	11
故障かな?と思ったら	12
主な仕様	13
アフターサービス	14

安全上のご注意 必ずお読みください

表示について

製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人への危害や財産への損害を未然に防止するために重要な内容を表示しています。

その表示と意味は次のようになっています。

 警告	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容が記載されています。
 注意	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が傷害を負ったり物的損害の発生が想定される内容が記載されています。

絵表示の例

 ○記号は行ってはいけない行為であることを告げるものです。	 ❶記号は必ず実行して欲しい内容であることを告げるものです。
--	---

 警告	
 禁止	交流100V以外で使用しない。また、コンセントや配線器具の定格を超える使い方はしない。 火災・感電の原因となります。
	電源コードが以下のようなときは使用しない。 ・根元部分が変形または傷んでいる ・ねじれて戻らない ・コンセントの差し込みがゆるい 火災・感電・ショートの原因となります。
 ぬれ手禁止	ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない。 感電の原因となります。
 必ず行う	電源プラグは根元まで確実に差し込む。 発火・感電の原因となります。
	電源プラグに付着したほこりや汚れは定期的に取り除く。 火災の原因となります。
	電源コードや電源プラグを破損しないため、以下のことに注意する。 ・ねじらない ・引っ張らない ・無理に曲げない ・挟み込まない ・熱いものに近づけない ・束ねたまま使用しない ・加工しない 火災・感電・ショートの原因となります。
	乳幼児が誤って電源プラグを口に入れたりしないよう十分注意する。 感電・けがの恐れがあります。
 コンセントを抜く	以下の場合には電源プラグをコンセントから抜く。 ・使用しないとき ・その場を離れるとき ・本体にブレンダーやピーターを取り付け、取り外しするとき ・お手入れするとき 感電・けが・火災・漏電の原因となります。
	電源プラグを抜くときは電源コードを持たずに必ず電源プラグを持って抜く。 感電・ショート・故障の原因となります。
 禁止	補助を必要とする人や子供だけで使用させない。乳幼児の手の届くところで使用しない。 感電・けがの恐れがあります。安全面に責任を持つことが出来る人と一緒に使用してください。また、子供や乳幼児の手の届くところへ保管したり、製品で遊んだりしないよう注意してください。
	梱包のポリ袋などは乳幼児の手の届く場所に置かない。 窒息の恐れがあります。
	電源プラグをコンセントに差し込んだままブレンダー刃やピーターに手、ヘラ、スプーンなどで絶対に触れない。 けがの恐れがあります。
	調理時には付属の計量カップなど容器の中に手や指、スプーン、箸など材料以外のものは絶対に入れない。 けが・故障の恐れがあります。
	ブレンダー刃に直接触れない。 けがの恐れがあります。
 分解禁止	改造はしない。修理技術者以外の人には、分解・修理しない（廃棄時は除く）。 感電・故障・けがの原因となります。



警告

 必ず行う	<p>製品に以下のような異常が発生した場合はすぐに使用を中止し、電源プラグを抜く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・電源プラグや電源コードが異常に熱い ・電源プラグや電源コードが損傷、または変形、変色している ・通電したり、しなかったりする ・本体が変形したり、異常に熱くなったりする ・本体その他から焦げ臭いにおいがする ・使用中に異常な回転音がする <p>発火・感電・けがの恐れがあります。 電源コードや電源プラグに破損や変形などの異常がある場合は、販売店へ修理を依頼してください。</p>	 水ぬれ禁止	<p>本体や接続部などを水につけたり、水で洗わない。 感電・ショート of の恐れがあります。</p>
		 禁止	<p>不安定な場所に容器を置いて使用しない。 けが・故障の恐れがあります。</p> <p>屋外で使用しない。 故障の恐れがあります。</p>
			<p>本体やブレンダー、ピーター、付属の計量カップを落としたり強い衝撃を加えたりしない。 故障の恐れがあります。</p>

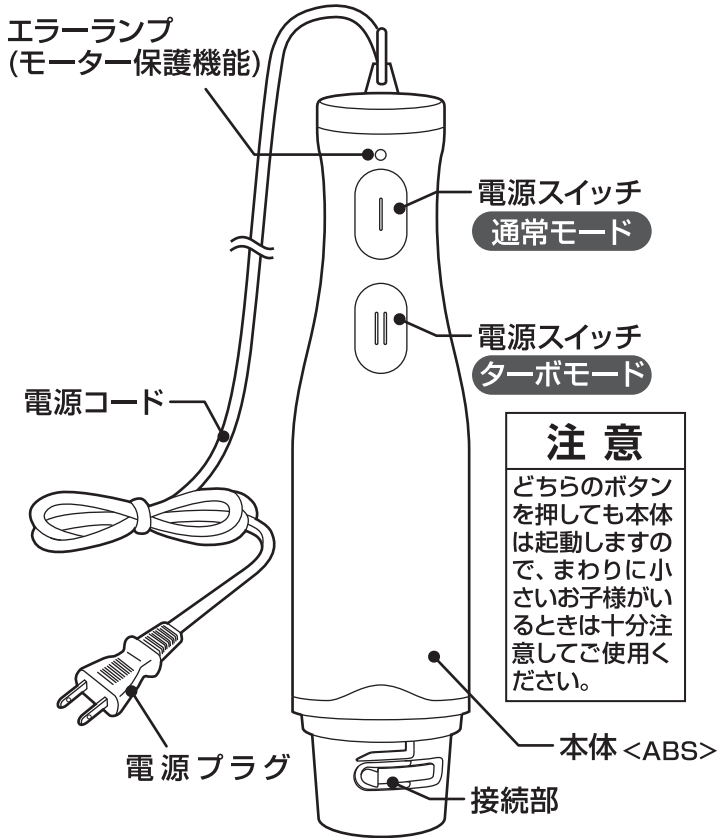


注意

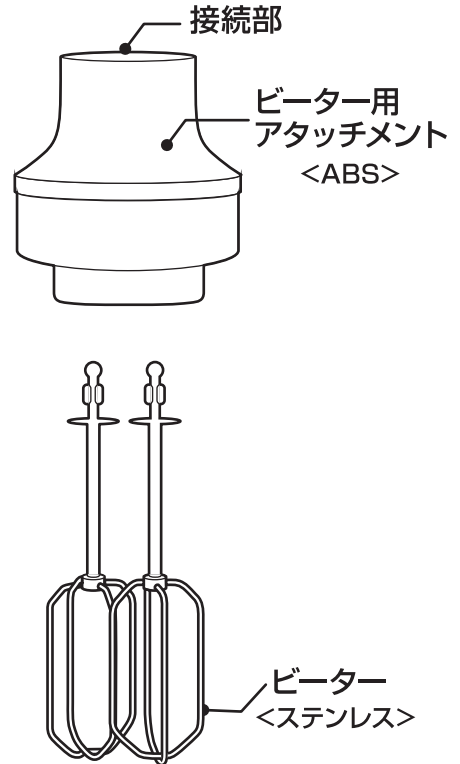
 禁止	<p>本体が濡れた状態で使用しない。 けが・故障の原因となります。</p>	 禁止	<p>付属の計量カップを火にかけない。また、電子レンジやオーブンで使用しない。 破損の原因となります。</p>	
	<p>空回しをしない。 故障の原因となります。</p>		<p>本体や接続部のすき間や穴にピンや針金のような金属物や異物を入れない。 感電・けがの原因となります。</p>	
	<p>電源コードを持って本体を移動しない。 また、電源コードを本体に巻きつけない。 故障の原因となります。</p>		<p>定格時間を超えての連続運転はしない。続けて使用する場合は30分以上休ませてから再度使用する。 故障の原因となります。</p>	
	<p>本製品は家庭用のため、業務用として使用しない。 店舗、オフィス、宿泊施設など、家庭以外では使用しないでください。 故障の原因となります。</p>		<p>ブレンダー刃やピーターの回転が完全に止まるまでは容器から出さない。また、回転中のブレンダー刃やピーターには絶対に触れない。 けがや摩擦によるやけどの原因となります。</p>	
	<p>以下のような場所では使用しない。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・不安定な場所や滑りやすいところ ・水がかかりやすい、または湿気の多いところ ・油のかかりやすいところ ・火気の近く ・屋外や直射日光が長時間当たるところ <p>火災・けが・故障の原因となります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・壁や家具の近く (飛び散りによる汚れや変色の原因) 		<p>調理以外の目的で使用しない。 故障の原因となります。</p>	
	<p>運転中に本体や付属の計量カップを移動させない。 また、本体を計量カップの外に出さない。 けがの原因となります。</p>		<p>食器洗浄機や食器乾燥機は使用しない。 破損の原因となります。</p>	
	<p>割れやすい容器では使用しない。 けが・容器の破損の原因となります。</p>		<p>お手入れの際にはベンジン、シンナーや漂白剤、また金属製のたわしや化学ぞうきん等を使用しない。 破損の原因となります。</p>	
	<p>容器内や鍋底で本体を引きずらない。 容器や鍋の破損の原因となります。</p>		<p>材料の入れすぎや詰まり、材料の偏りが原因でブレンダーが停止した場合は、すぐに電源プラグをコンセントから抜き、材料を減らしたり容器の中で均等になるよう配置してから再度運転する。 故障の原因となります。</p>	
	<p>付属の計量カップの目盛以上(600ml)の材料や液体を入れて使用しない。 故障の原因となります。</p>		 必ず行う	<p>使用中に材料を足す場合は必ず電源プラグをコンセントから抜き、ブレンダー刃やピーターの回転が完全に止まってから材料を加える。 けが・故障の原因となります。</p>
	<p>40℃以上の材料を付属の計量カップに入れない。 材料は人肌程度に冷ましてから調理する。 けが・破損の原因となります。</p>			<p>調理した材料やブレンダー刃に詰まった材料を取り除く際は必ず電源プラグをコンセントから抜き、ブレンダー刃の回転が完全に止まったのを確認した上でヘラや箸等を使って取り出す。 けがの原因となります。</p>
	<p>加熱中の鍋の中では直接使用しない。 けがの原因となります。</p>			

各部の名称

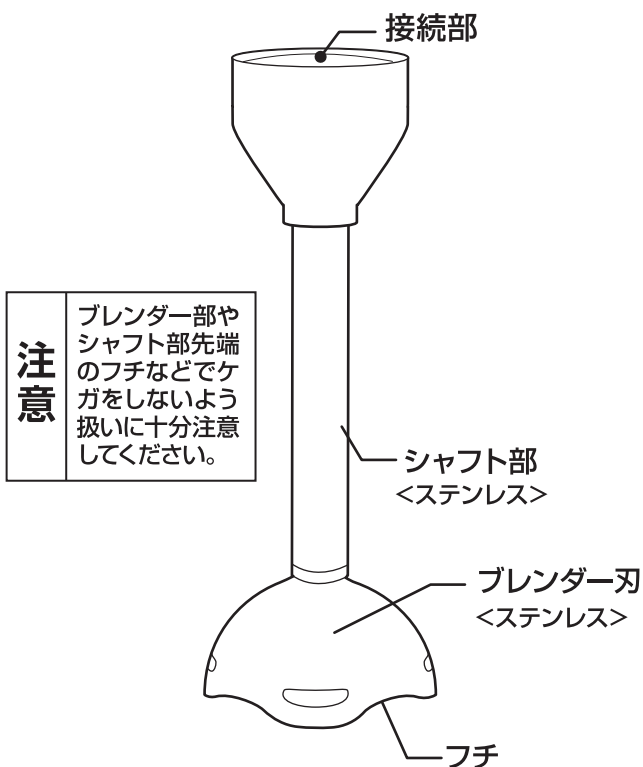
本体



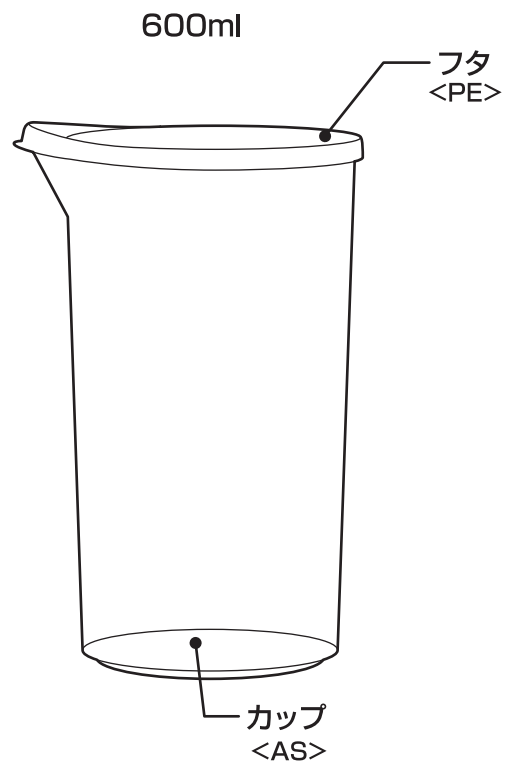
ビーター



ブレンダー



計量カップ



ブレンダーの用途

・果物やゆでた野菜などのやわらかい材料と、水分(液体)を混ぜ合わせてフレッシュジュースやポタージュスープを作る。

ブレンダーで使えない材料

- ・食材以外のもの
- ・繊維やすじの多いもの: 肉、魚など
- ・かたいもの: 氷、冷凍食材、コーヒー豆、氷砂糖、乾物(乾燥豆、煮干し、かつお節、昆布、干しいたけ)など
生の野菜(にんじん、じゃがいも、かぼちゃ)など
- ・粘り気の強いもの: じねんじょ、パン生地、ジャム、納豆 など
- ・水分の少ないもの: ゆでた野菜(じゃがいも、さつまいも、かぼちゃ)など
*ただし、材料と同量の水分を加えると使用できます。

ブレンダーで使える容器

○	・付属の計量カップ ・金属製、プラスチック製の容器や鍋 ※容器が傷つくため、ふちや底に当たらないようご注意ください。
×	・ガラス製、陶器、磁器など割れやすい容器や鍋

ビーターの用途

- ・生クリームを泡立てて、ホイップクリームを作る。
- ・卵白を泡立てて、メレンゲを作る。(全卵は泡立ちません)
- ・マヨネーズやドレッシングを作る。

ビーターで使えない材料

- ・食材以外のもの
- ・かたいもの、粘り気の強いもの: 冷たいバターやクリームチーズ、パン生地など

ビーターで使える容器

○	・付属の計量カップ ・金属製のボウル ※材料が飛び散る恐れがありますので、大きくて深めのものをお使いください。
×	・ガラス製、陶器、磁器など割れやすい容器

お使いになる前に

⚠️ ご注意

- ※ はじめてお使いになるときはブレンダー刃やビーター、付属の計量カップを食器用中性洗剤でよく洗ってください。
- ※ ブレンダー刃はとても鋭利です。絶対に直接手でふれないでください。
- ※ 使用するとき以外は必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。不意に作動してしまうとブレンダー刃やビーターが回転し大変危険です。
- ※ 子供や幼児の手の届く場所に置かないよう十分ご注意ください。
- ※ 定格時間を守ってご使用ください。定格時間以上お使いになる場合は30分以上休ませてからご使用ください。
- ※ 付属の計量カップをご使用の際は、容器の目盛（600ml）以上の材料や液体を入れないでください。材料が多い時は、何回かに分けて調理してください。
- ※ 使用中に材料を足す場合は必ず電源プラグをコンセントから抜き、ブレンダー刃やビーターの回転が完全に止まってから材料を加えてください。
- ※ ブレンダーをご使用の際は、水分(液体)を入れずに食品だけで調理するのはおやめください。
- ※ 材料は適量を守って調理してください。
- ※ 運転中に本体や容器を移動したり、本体を容器の外に出すのは大変危険です。絶対におやめください。
- ※ 本体・電源コード・ブレンダー接続部(プラスチック部分)・ビーター用アタッチメントは水洗いしたり、水をかけたりしないでください。

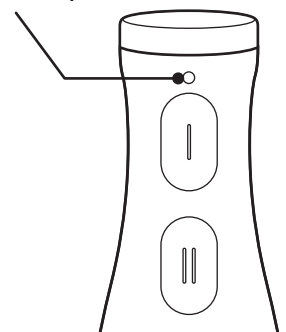
エラーランプが点灯してしまったら

- ※製品の定格時間を超えて使用したり、使えない材料(P4参照)を使用した場合、モーターに負荷がかかり過ぎて高温となり、エラーランプが点灯して停止します。

その際は下記の手順を行ってください。

- ①電源プラグをコンセントから抜く。
- ②材料が多すぎる場合は減らし、水分を足す。
刃に材料がはさまっていたら、箸等で取り除く。
- ③30分以上休ませる。
- ④電源プラグをコンセントにさし、エラーランプが消えていたら、そのまま使う。

エラーランプ
(モーター保護機能)



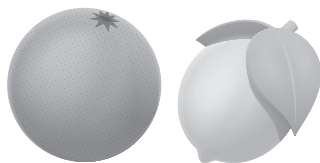
ブレンダーの使いかた

下ごしらえ

やわらかい材料は2cm角に切る

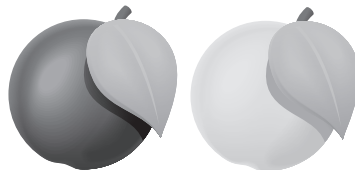
かんきつ類

(みかん、オレンジ、レモンなど)



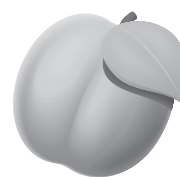
※外皮をむいて房ごとに分ける

りんごや梨



※芯や種を取り除く
※お好みで皮をむく

プラムや桃



※種を取り除く

かたい材料は2cm角に切る

じゃがいも、かぼちゃ、にんじん



※お好みで皮をむく
※いも類やかぼちゃ、にんじんはゆでてから同量の水分を加えて調理する

葉物類はよく洗い2~3cm幅に切る

小松菜やほうれん草



※葉物類は半量の水分を加えて調理する

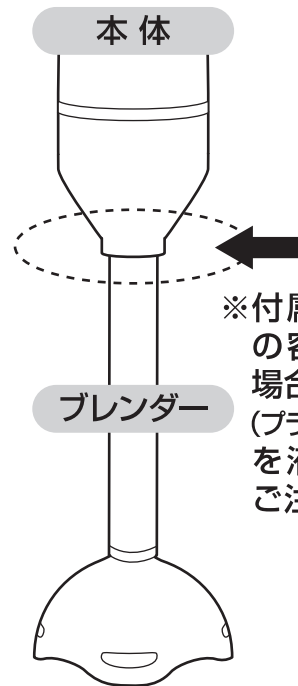
ブレンダーの使いかたっづき

1. 下ごしらえした材料を計量カップなどに入れる

※40℃以下に冷ました材料をお使いください。



※付属の計量カップを使用する場合は目盛以上(600ml)の材料や液体を入れないでください。

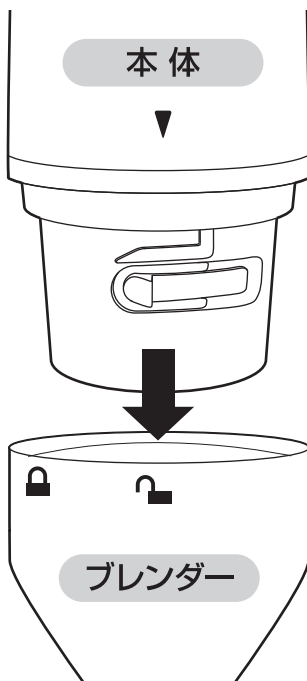


※付属の計量カップ以外の容器や鍋を使用する場合は左図の矢印部分(プラスチックと金属の境目)を液体に沈めないようご注意ください。

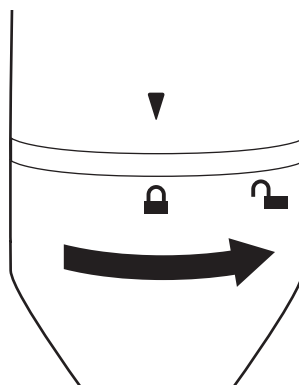
2. ブレンダーを本体に取り付ける

必ず電源プラグをコンセントから抜いた状態で行ってください。

通電しているとふいに電源スイッチを押して作動させてしまうことがあり大変危険です。



- ①本体背面にある「▼」マークとブレンダーの「🔒」マークを合わせてはめる
- ②ブレンダーを反時計回りに「カチッ」と音がするまで回して固定する



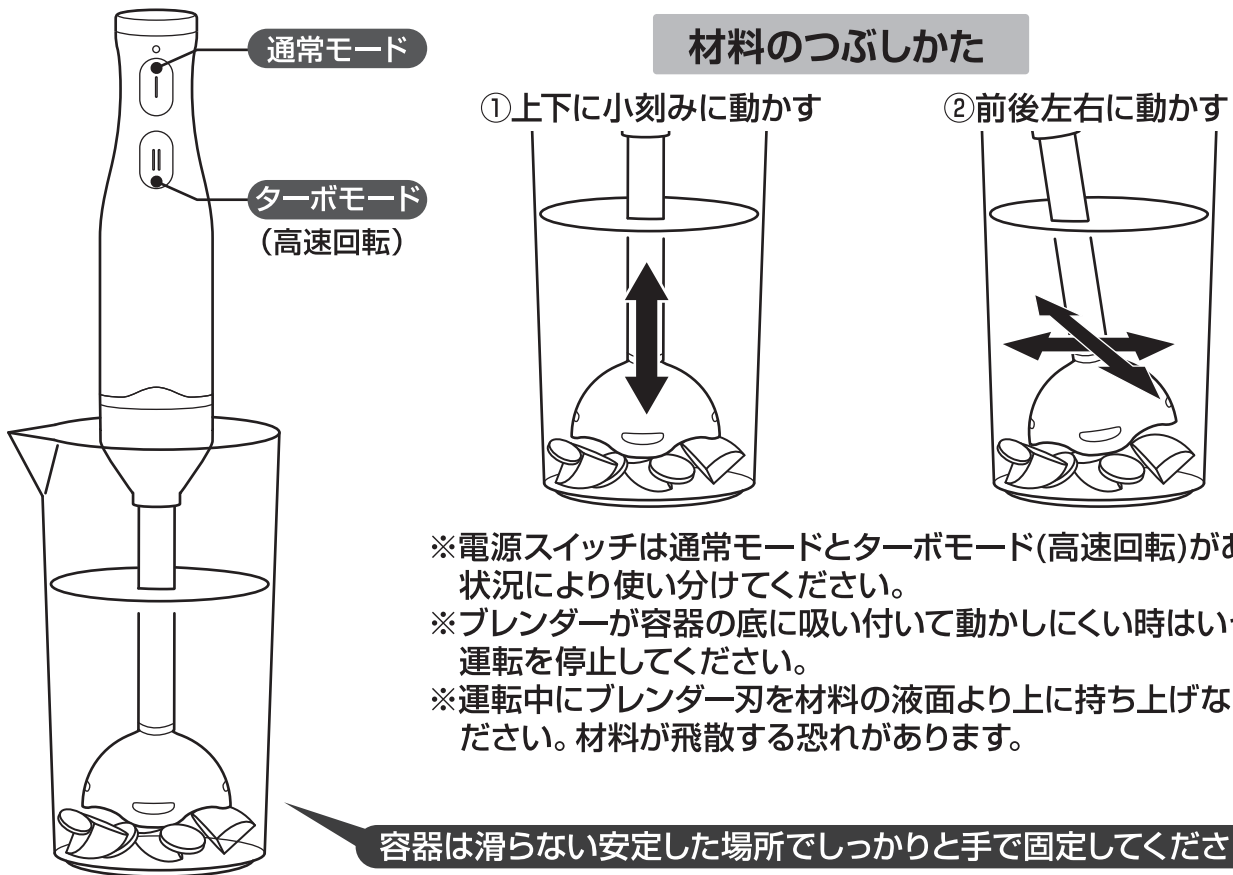
※取り付けたあと、本体の「▼」マークがブレンダーの「🔒」マークの真上に来ているか確認してください。

3. 電源プラグをコンセントに差し込む

※差し込む前に本体の電源スイッチにふれていないか確認してください。

ブレンダーの使いかた つづき

4. ブレンダーを容器内の材料にしっかりと押し当てながら電源スイッチを押す



故障の原因となりますので、1分以上続けて運転しないでください。
続けて使う場合は30分以上休ませてから再度ご使用ください。
※エラーランプが点灯し停止した場合は5ページをご参照ください。

⚠️ ご注意

- 「通常モード」と「ターボモード」ボタンのどちらを押しても本体は起動します。
まわりに小さなお子様がいるときは十分注意してご使用ください。
- 使用中にブレンダーが止まってしまった場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜き、ブレンダー刃の回転が完全に止まったのを確認した上で詰まった材料を箸などを使って取り除いてください。

5. 調理がおわったら電源スイッチから指を離し、ブレンダー刃の回転が完全に止まったのを確認の上、容器から取り出す

6. 電源プラグをコンセントから抜く

ビーターの使いかた

下ごしらえ

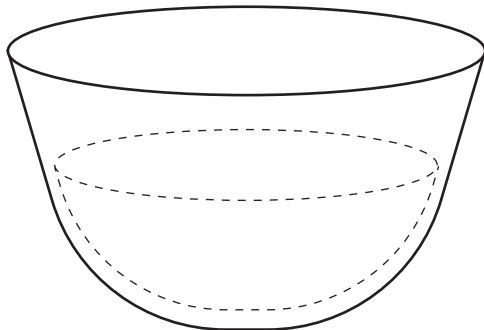
- ・生クリーム、卵白は冷蔵庫でよく冷やす。
- ・ビーターや容器は洗ってしっかり乾かしておく。
※水分や油分がついていると、泡立ちが悪くなります。

分量のめやす

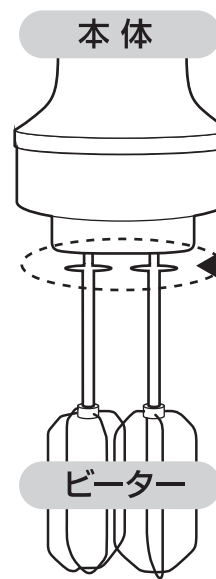
材 料	分 量	おすすめの容器
生クリーム (乳脂肪分 35% 以上)	200ml	付属の計量カップ
卵白	4個まで	大きくて深めな金属製ボウル

※材料が飛び散る恐れがありますので、大きくて深めの容器をお使いください。

1. 下ごしらえした材料を容器に入れる



※上記の分量のめやすを参考にしてください。

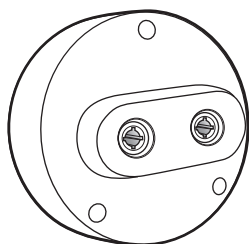


※付属の計量カップ以外の容器を使用する場合は左図の矢印部分を液体に沈めないようにご注意ください。

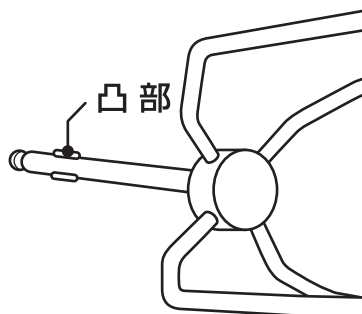
2. ビーターをビーター用アタッチメントに取り付ける

※「カチッ」と音がしてしっかりと固定されるまで確実に差し込んでください。

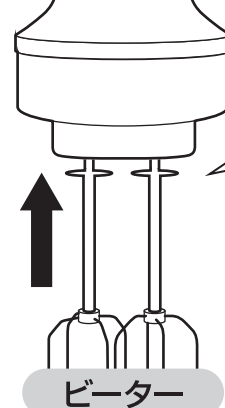
ビーター用アタッチメント



ビーター



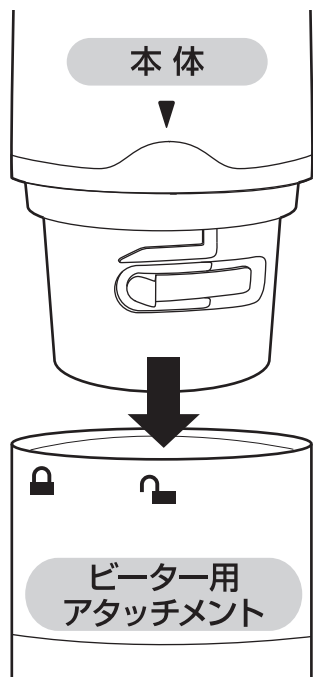
ビーター用アタッチメント



カチッ

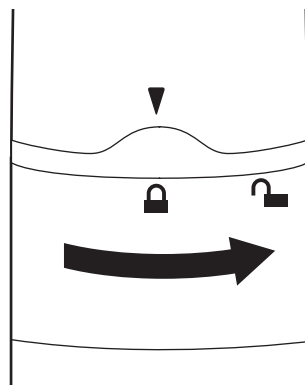
ビーターの使いかた つづき

3. 電源プラグがコンセントから抜かれていることを確認の上、ビーター用アタッチメントを本体に取り付ける



① 本体背面にある「▼」マークとビーター用アタッチメントの「☪」マークを合わせてはめる

② ビーター用アタッチメントを反時計回りに「カチッ」と音がするまで回して固定する

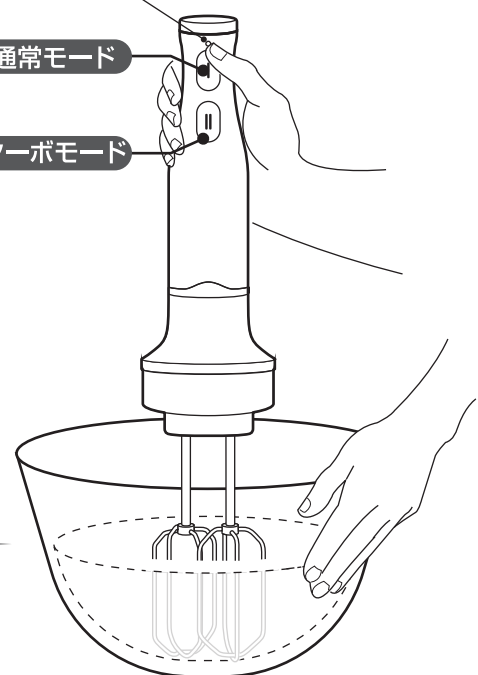


※取り付けたあと、本体の「▼」マークがビーター用アタッチメントの「☪」マークの真上に来ているか確認してください。

エラーランプ
(モーター保護機能)

通常モード

ターボモード



4. 電源プラグをコンセントに差し込む

※差し込む前に本体の電源スイッチにふれていないか確認してください。

5. ビーターを容器に入れ、電源スイッチを押す

① 本体を立て、ゆっくり左右に動かしながら「通常モード」でかくはんする。

② とろみが出てきたら「ターボモード」に切り替える。

※本体を斜めにするとう材料が飛び散ることがありますのでご注意ください。

材料が少ない場合は容器を傾けて下さい。

故障の原因となりますので、3分以上続けて運転しないでください。
続けて使う場合は30分以上休ませてから再度ご使用ください。
※エラーランプが点灯し停止した場合は5ページをご参照ください。

6. 泡立が終わったら電源スイッチから指を離し、

ビーターの回転が完全に止まったのを確認の上、容器から取り出す

7. 電源プラグをコンセントから抜く

お手入れの仕方

- ※必ず電源プラグがコンセントから抜けていることを確認した上で行ってください。
- ※ベンジン、シンナー、漂白剤、塩素系洗剤、または金属製のたわしや化学ぞうきんは使用しないでください。
- ※ブレンダー刃やシャフト部先端のフチはとても鋭利なので直接手を触れないようご注意ください。
- ※食器洗浄機や食器乾燥機は使用しないでください。
- ※本体・電源コード・ブレンダー接続部(プラスチック部分)・ビーター用アタッチメントは水洗いしたり、水をかけたりしないでください。

本体

ぬるま湯または水で薄めた食器用中性洗剤に浸したやわらかい布を、よく絞って拭き取る。

※本体や電源コードに水がかからないよう十分ご注意ください。

感電・ショート・故障の原因となります。



注意

水洗い・つけ置きを行うと内部に水が入り、故障の原因となります。

ブレンダー

金属部分はスポンジに食器用中性洗剤をつけてよく洗う。プラスチック部分はぬるま湯または水で薄めた食器用中性洗剤に浸したやわらかい布を、よく絞って拭き取る。

※特に着色しやすい食材(にんじん、かぼちゃ、オレンジ等)がプラスチック部分に付着した場合はすぐに拭き取ってください。



注意

水洗い・つけ置きを行うと内部に水が入り、故障の原因となります。

※内部に水が入ってしまった場合は、よく水をきり、水分をふきとってください。

ブレンダー刃・ビーター

市販のブラシと食器用中性洗剤を使いよく洗う。特に塩分が付着した場合はサビの原因となるのですぐに洗い流す。

汚れが落ちにくいときは…

- ①付属の計量カップなどの容器に40℃以下のぬるま湯と食器用中性洗剤を少量入れ、約10秒間運転させる
- ②水を入れ替えて食器用中性洗剤を入れずに同じ動作をする
- ③上記を数回繰り返す

ビーター用アタッチメント

ぬるま湯または水で薄めた食器用中性洗剤に浸したやわらかい布を、よく絞って拭き取る。



注意

水洗い・つけ置きを行うと内部に水が入り、故障の原因となります。

※内部に水が入ってしまった場合は、よく水をきり、水分をふきとってください。

計量カップ

スポンジに食器用中性洗剤をつけてよく洗う。

全ての部品を十分に乾燥させてから、湿気が少なく子供や幼児の手の届かない場所に保管する。

故障かな？と思ったら

故障かな？と思ったらときは次の点をお調べください。

症 状	主な原因	処 置
電源スイッチを押しても 運転しない 運転が途中で止まる	●電源プラグが抜けている	電源プラグをコンセントに差し込む
	●モーター保護装置が働いている (エラーランプが点灯している)	P5の「エラーランプが点灯してしまったら」 の手順で対処する
	●材料が引っ掛かっている	電源プラグをコンセントから抜いて、はしな どを使って材料を取り除く
本体が異常に熱い または異臭がする	●使えない材料を調理している	使えない材料を取り除く(P4参照)
	●定格時間を超えて運転している	電源プラグを抜き、30分以上休ませ、本体 が冷えてから使用する 定格時間を守る(P5、8、9、10、13参照)
音や振動が異常に大きい	●使えない材料を調理している	使えない材料を取り除く(P4参照)
	●ブレンダー刃やピーターが正しく取り 付けられていない	正しく取り付け(P7、9、10参照)
材料がうまく混ざらない	●材料の切り方(サイズ)が大きすぎる ●材料が多すぎる	材料を小さく切りなおす 材料を減らす
	●材料がかたすぎる	かたい材料を取り除く (P5、6、8参照)
	●ブレンダー刃やピーターが正しく取り 付けられていない	正しく取り付け(P7、9、10参照)
容器から食材が あふれる	●ブレンダー刃が欠けている	使用を中止し、販売店へご相談ください。
	●材料が多すぎる ●粘り気の強い材料を使用している	材料を減らす 粘り気の強い材料を取り除く 粘り気の強い材料は使用できません。 (P4参照)
電源プラグが異常に熱い	●コンセントの差し込みがゆるい	コンセントに問題がある場合があります。 最寄りの電器店にご相談ください。

主な仕様

品名	ハンドブレンダー		
型番	ANGC-BLD22-A		
電源	AC100V 50/60Hz		
消費電力	220W		
定格時間	アタッチメント	定格時間	動作モード
	ブレンダー	1分	通常
			ターボ
	ビーター	3分	通常
ターボ			
回転数(約)			
9,800回転/分			
11,000回転/分			
3,000回転/分			
3,300回転/分			
*定格時間を超えた場合は必ず30分以上休ませてください。			
質量	約600g (本体+ブレンダー)		
サイズ	幅66 x 奥行70 x 高さ398 mm (本体+ブレンダー)		
電源コードの長さ	約1.5m		

- この製品は日本国内用に設計されています。電源電圧や電源周波数の異なる外国では使用できません。アフターサービスもできません。

This product is designed for use only in Japan and can not be used in any other country. No product service is available outside of Japan.

アフターサービス

修理を依頼されるときは

- 「故障かな?と思ったら」(P12)をご確認ください。それでも異常があるときは使用を中止し、電源プラグを抜いてください。
- 製品と保証書・お買い上げレシートを準備し、下記のお問い合わせ先か販売店にお問い合わせください。

修理料金の仕組み

- 修理料金は、技術料・部品代などで構成されています。

技術料 診断・故障個所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。

部品代 修理に使用した部品および補助材料代です。

保証書

保証書は記載内容をご確認いただき、大切に保管してください。

《保証期間中》

保証書の内容に従って修理いたします。

《保証期間が過ぎている場合》

修理すれば使用できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。

※場合によっては修理できない場合もございます。

補修用性能部品の最低保有期間

補修用性能部品を製造打ち切り後、6年間保有しております。

※補修用性能部品とは、その製品の性能を維持するために必要な部品です。

ご相談窓口・修理窓口のご案内

お取扱い・修理に関しては販売店へご相談ください。

※販売店にご依頼できない場合（転居や贈答品など）は下記の各お問い合わせ先にご相談・お問い合わせください

お客様の個人情報の取り扱いについて

ご提供いただいたお客様の個人情報は、ご意見・ご質問への回答および弊社のお客様サービス向上のために利用させていただきます。ご質問の内容によりましては、適切な回答のためエディオングループ、および関係会社に情報を提供する場合もございます。その他、ご提供頂いたお客様の個人情報はエディオングループ個人情報保護方針に基づいてお取り扱いいたします。

エディオングループ個人情報保護方針 <https://www.edion.co.jp/privacy>

お問い合わせ先

～製品に関するお問い合わせ～

エディオンお客さま相談センター



受付時間：月曜日～金曜日
9:30～18:30（土日祝・年末年始除く）

0570-07-0557

有料

※番号をお確かめの上、お掛け間違いのないようお願いいたします。※電話番号・受付時間等につきましては、変更になる場合がございます。

(2025.9月時点)

～修理に関するお問い合わせ～

家電の119番



受付時間：月曜日～日曜日
9:00～19:00（年中無休）

0570-06-0119

有料

※年末年始に関しては受付時間に変更となる場合がございます。※番号をお確かめの上、お掛け間違いのないようお願いいたします。

(2025.9月時点)



愛情点検

●長年ご使用のハンドブレンダーの点検を！



こんな症状はありませんか

- 電源コードや電源プラグが異常に熱くなる。
- コードに傷がついたり、通電しなかったりする。
- こげ臭いにおいや異常な音、振動がする。
- 本体や部品の変形や破損がある。
- その他の異常や故障がある。

ご使用
中止

事故防止のため、コンセントから電源プラグを抜いて、必ず販売店に点検をご依頼ください。